

## 目 次

光の村土佐自然学園 校歌	-----	2
1. 創立	-----	3
2. 沿革	-----	3
3. 学園生活アルバム	-----	6
4. 光の村教育	-----	8
(1) 教育課程の内容		
1. 生活教育（暮らしの質を変える）		
2. 体育教育（体の質を変える）		
3. 作業教育（手の質を変える）		
4. 教科教育（ことばの質を変える）		
(2) 学習の内容		
1. 教科教育		
2. 技術教育		
5. 生徒の状況	-----	10
(1) 学部・学年別在籍生徒数		
(2) 障害の程度		
(3) 併せ持つ障害・疾病		
(4) 出身地別生徒数		
6. 高等部卒業生の進路状況	-----	11
7. 学校運営組織	-----	12
8. 主要年間行事予定	-----	13
9. 光の村全体図	-----	14
10. 光の村構成図	-----	14
寮生活（寄宿舍）の1日	-----	15

# 果てなき空へ

創立50周年委員会 作詞・作曲

C Em7 A7 Dm7 G7 C  
 5 C C#dim Dm7 G7 C  
 9 F6 Fm Dm7/G G7 C  
 13 C Em7 F D7 G7  
 17 C Em7 A7 Dm7 G7 1, 2. C  
 21 3. C C Em7 A7 Dm7 G7 C  
 26 4. C C Em7 A7 Dm7 G7 C

なみこた みやろか のまもぜ かかわう ぜわざげ にをもて つまみは つなのし まびらり れやせぬ てにてき きなしみ  
 ばかから うまいい のとのに はちとた なかびす がららぎ めきひつ ぶそらな さいぎぎ まままま すすすす ひひひひ かかかか  
 りりりり ひひひひ かかかか りりりり あかすは たがみて たやわし かいなな くてりい ととおと ささきさ ののおお そそそぞ らららら かかかへ らららと ひひひひ かかかか  
 りりりり のののの むむむむ らららら にににを はな るつきび がががた くくくと るるる  
 る  
 う

- 一、南の風につつまれて  
希望の花が 芽吹きます  
光ひかり暖かく 土佐の空から  
光の村に 春が来る
- 二、海山川を 学び舎に  
仲間と力 競います  
光ひかり輝いて 土佐の空から  
光の村に 夏が来る
- 三、心も技も 実らせて  
社会の扉 開きます  
光ひかり澄み渡り 土佐の空から  
光の村に 秋が来る
- 四、北風受けて 走り抜き  
未来にたすき つなぎます  
光ひかり果てしない 大空へと  
光の村を 飛び立とう

特別支援学校 光の村土佐自然学園 校歌

**果てなき空へ**

創立50周年委員会 作詞・作曲



# 1. 創立

終戦直後から知的障害児教育に取り組んだ創立者西谷英雄は、木工指導を続けるうちに技能の訓練から技術の教育へと高めることができるという確信を持った。昭和34年に中卒者の職業訓練所（紙器工場）を作って実験教育を続け、昭和44年に実業高校的な私立の高等部養護学校を開設した。昭和50年に専攻科、昭和58年に中学部を開き8年制の学校となった。

## 2. 沿革（光の村のあゆみ）

●印はわかぎ寮以外の社会福祉法人関係

- 昭和34年度 高知市旭天神町301の高知市立旭小学校に開設されていた、城西中学校養護学級分室の中へ教育機関・光の村職業補導所を併設。これが生涯教育総合施設光の村の始まり
- 36年度 財団法人高知県精神薄弱者職業補導協会を設立
- 38年度 補導所に寮を併設し「生活と職業指導」の総合的な教育機関とする
- 41年度 光の村職業補導所を私立の学校に、寮を知的障害児施設に切り替える
- 43年度 土佐市新居に校舎(231㎡)と寮舎を建築する
- 44年度 学校法人光の村養護学校として開校（本科3年・別科2年）  
初代校長に西谷英雄が就任
- 45年度 2階建ての新校舎を竣工 第1回強歩大会を実施（波介山越え30km）
- 46年度 ●更生施設たかぎ寮を開設 知的障害児施設を光の村わかぎ寮と命名  
第1回高等部卒業旅行として韓国に行く
- 47年度 ●通勤寮を高知市旭天神町301に開設 旭寮とする（任意施設）  
第2回高等部卒業旅行として韓国に行き木浦共生園（孤児院）と交流
- 49年度 プール着工
- 50年度 別科を廃止 専攻科を開設 技術教育を柱とする5年制の青年期学校になる  
プール完成  
●株式会社フクシ（ダンボール製造機械の製作）を土佐市新居に設立
- 51年度 カッターボート2隻を作り海洋教室を開く
- 53年度 江戸川区西小岩にアフターケアセンターを開設  
●通勤施設ときわ寮を土佐市新居にスタート  
第1回室戸サイクリングを開始（現在に至る） 第1回土佐市駅伝大会に出場
- 54年度 ●夫婦寮を建設  
校内に乳幼児保育室を開設 土佐市と共同で障害幼児教室も開設  
東京でパン工場を作るために職員をパリに留学
- 55年度 ●卒業生の仕事場としてパンの店「株式会社プチットルミエール」を江戸川区に開設
- 58年度 中学部を開設  
ルミエール内の製菓工場を株式会社光の村南風堂として土佐市に移転  
京都府下に「綾部農園」を開設 ●首都圏光の村の設立用地を千葉市に購入
- 59年度 職員住宅を土佐市新居に建設  
江戸川区で新しいパン工場用建物を購入

- 昭和60年度 東京江戸川区にパン実習工場有限会社「光の村お母さんのパン本舗」として再開  
知的障害児施設「わかぎ寮」を新築移転
- 61年度 埼玉県に養護学校を新設 「光の村養護学校秩父自然学園」と称す  
土佐市の学校を「光の村養護学校土佐自然学園」と改称  
「お母さんのパン本舗」を学校法人光の村学園東京分室とする
- 62年度 食品加工を中心に綾部分室を開設
- 63年度 ●社会福祉法人首都圏光の村を設立 千葉光の村授産園と称す(4年制の教育授産)
- 平成元年度 卒業旅行を再開 北海道へ  
光の村養護学校秩父自然学園に高等部開設
- 2年度 高3の卒業旅行を宮古島トライアスロン挑戦とする この年度は専2も加わる  
その他の学年は3つのイベント旅行に別れ実施  
トライアスロンへの挑戦を契機に校内フルマラソン大会・遠泳大会を開始
- 3年度 生活棟完成 建築工事中中学生は安芸市畑山分室へ移転 年度末3月に帰校  
専2生徒2名 全日本トライアスロン宮古島大会に出場 完走  
西谷壽子が校長に就任
- 4年度 ●夫婦寮としてグループホームを作る 2組入居
- 6年度 中3卒業旅行土佐湾一周旅行を実施(現在に至る)
- 7年度 ●神戸市に教育授産施設用地を購入  
●小規模作業所・神戸光の村南風堂を開設
- 8年度 高等部専攻科棟の建設に着工  
石川県小松市に分室を開設  
株式会社南風堂を廃止 学校実習工場として製菓部門をつくる  
光の村養護学校土佐自然学園後援会を結成 ●卒業生が1組結婚、グループホーム  
に入居
- 9年度 高等部専攻科棟完成  
石川県小松分室を廃止、有限会社「光パックス石川」を開設  
●竹炭工場、石鱈工場を開設
- 10年度 体育館を建設  
●更生施設たかぎ寮を移転新築 第2グループホームができる(4名入所)
- 11年度 創立30年・体育館落成記念式典を挙行 記念誌発刊  
●更生施設たかぎ寮の移転新築記念研究大会を開催  
第1回新居地区敬老会を行う
- 13年度 橋本大二郎高知県知事、学校・施設を視察 天皇陛下お下賜金を受ける
- 14年度 ●神戸光の村授産学園(30名)を開設  
生活棟内外の改装工事を実施 ●(有)光の村工房を神戸に開設
- 15年度 実習部門に文旦作業が加わる  
学校に併設する寄宿舍が正式に学校寮になる
- 16年度 石川県加賀市長来校  
神戸ラッセホールで研究会をもつ(中3の卒業旅行に神戸へ)  
●東京光の村授産園竣工式  
学校安全優良校として文部科学大臣表彰を受ける
- 17年度 本館校舎落成式式典  
学校安全優良校として、内閣総理大臣賞を受賞する
- 18年度 ●第4,5グループホーム設置許可  
近隣の高校へパンや菓子の出張販売をはじめる
- 19年度 光の村学園理事長(西谷英雄)、神戸光の村授産学園の園長を辞し、土佐へもどる  
卒業生が全日本トライアスロン宮古島大会に参加 好成績を残す

- 平成20年度 第2文旦農園を購入  
 高齢障害者雇用支援機構より理事長表彰  
 高知県知事より理事長表彰  
 中国から視察団来校（教師2、生徒2）  
 ●卒業生が光の村内に第二号の住宅を建設
- 21年度 ●「就労支援事業所ひかりの村」が開所  
 創立40年記念式典  
 高3宮古島卒業旅行20回記念大会式典を行う  
 ペスタロッチー教育賞を理事長受賞  
 ●第7ひかりホーム完成（平成22年3月完成）
- 22年度 児童寮（わかぎ寮）の新築移転計画が決まり工事に着工  
 県耐震化等補助金を得て年度末3月に完成
- 23年度 児童寮（わかぎ寮）新築落成 新年度から使用開始  
 3月31日付けで病氣療養中の西谷壽子校長退任
- 24年度 北野光子が校長に就任  
 校内実習場を長年支えた卒業生の退職と支援変更が決まる  
 ●第3グループホームが完成（民間アパートの使用を中止）
- 25年度 カッターボート、動力船修復展示完成  
 11月13日 光の村学園理事長西谷英雄死去（享年87歳）  
 2014年2月13-14日私立特別支援学校連合会教職員研修会担当校  
 2014年2月16日 高知龍馬マラソン2014に専攻科生徒初参加し全員完走  
 完走後春野陸上競技場で成人式を祝う
- 26年度 井村雄三が学校法人光の村学園理事長就任  
 中3卒業旅行3泊4日土佐遍路コースをとる  
 高知龍馬マラソン2015に専攻科生徒参加し全員完走
- 27年度 10月7日中国浙江省視察団来校  
 10月14日全国知的障害福祉関係職員研究大会高知大会のウエルカムアトラクション  
 に学園生徒・教員が参加演奏  
 12月 紙器工場耐震補強工事完成
- 29年度 小峯淳が校長に就任  
 2月プール改修工事
- 30年度 北野光子が学校法人光の村学園理事長就任
- 令和元年度 10月 創立50周年記念式典 「光の村校歌・果てなき空へ」を作成・披露
- 2年度 北野光子が学校法人光の村学園理事長再任  
 高3トライアスロンをオリンピックディスタンス（1日で3種目）に変更
- 3年度 4月より校名を「特別支援学校 光の村土佐自然学園」と変更  
 北野光子が学校法人光の村学園理事長と校長を兼任  
 10月 企業における障害者雇用の拡大と深化を図ることを目的として複数の企業と  
 協定を締結（順次協定企業を増やす予定）
- 5年度 藤崎富実子が校長に就任

### 3. 学園生活アルバム

#### ○大自然の中の全人教育…力強い青年を育成する

強歩大会（仁淀川堤防）



登山（工石山）



サイクリング（自転車学習）



#### ○くらしの教育 自立にむけて

衣類の整理



掃除



食事作り



歯磨き



#### ○からだの教育 足からの教育

強歩大会



水泳大会



マラソン大会



体育祭



○仕事の教育

製パン



製菓



清掃



文旦



調理

校内実習から現場実習へ



木工

さをり織り



○中学部卒業旅行 土佐遍路～高知県内の遍路道を歩く～



○高等部卒業旅行 トライアスロン～中・高6年間の総決算～

オリンピックディスタンス（スイム1.5km/バイク40km/ラン10km）の形式で挑戦。



## 4. 光の村の教育

### (1) 教育課程の内容

「物事に全力で取り組み最後までやり抜く力」と「ねばり強く・しなやかで・疲れにくく・疲れの取れやすい体」を育て、仲間に合わせて助け合う経験と丁寧な生活指導を実践し、人間の基礎をしっかりと固めていきます。一人ひとりの体力・気力に応じた職業訓練を積み上げて、確かに自立できる力をつけることを目指します。

#### 1. 生活教育（暮らしの質を変える）

本校は、全寮制を原則にする中学部・高等部（本科3年・専攻科2年）の青年期前期をカバーする8年制の学校という利点を活かして、日常生活の指導に重点をおいています。寮教育の大きな目的は「自分のことを自分でする力」を身につけることです。洗面・入浴・排せつ・手洗い・衣服の着脱・掃除・洗濯…。生活を支える一つひとつを、正確に手早く出来る様に支援・指導します。



#### 2. 体育教育（体の質を変える）

体育教育では、筋肉に活力を与え、感覚や神経に働きかけ、日々の運動、特に「歩く・走る」ことで足の質を変えることに力を注いでいます。器械体操や縄跳び・水泳など一人ひとりのペースでゆっくりと根気よく、積み重ねます。情緒も安定し、たくましく・ねばり強く・しなやかなからだに育てるよう支援・指導します。



#### 3. 作業教育（手の質を変える）

本校は、本格的な実習場（製菓・製パン・木工・文旦・清掃）を備えています。ここで、たくましく器用な手に変える作業教育をしています。手を使い脳を活性化することで表情も次第に引き締まります。最初うまくできなくても発達段階や特性に応じて、根気強く繰り返すことで、複雑な作業ができる「手」に育ちます。指示を聞いて、責任を持って働くという「仕事をするための基礎」を作るために支援・指導します。

#### 4. 教科教育（ことばの質を変える）

賢さは、「暮らし・体・手」の質を変えることから生まれます。この3つが確立されると、読むことや書くこと、話すことや計算すること等の学習の可能性も高まります。各教科を総合単元あるいは単独の学習等によって構成します。言語は学校のあらゆる場面で、数量は作業等の活動の中で、情操は音楽を中心に学習し、ことばの質を向上させるように支援・指導します。



## (2) 学習の内容

### 1. 教科教育

各教科を総合単元、あるいは単独のドリル学習等によって学習内容を構成する。

領 域	ねらい
言 語	「良く聞きわかること、はっきりと話すこと、読むこと、書くこと」等、日本語を使い分ける能力は、依存する生活の中では十分育たない。学校のあらゆる場面で、あらゆる時間を特設して指導を徹底する。
数 量	実際の活動の中で具体的に指導する。目測能力も向上させる。
生 活	あたりまえの暮らし方を徹底して指導し、何事も人に頼らず自力でやり遂げようとする態度と、それを支える技能を確かに身につける。 仲間に合わせて、仲間を思いやること、常に相手の立場にたって物事が考えられること、ルールを理解して守ること等、社会人の基礎をしっかりと育てる。 「なぜ」「どうして」「そうするとどうなる」という考える習慣も確かに育てたい。
体 育	力強く、しなやかで、敏捷性があり、持久力の高い体作りを徹底し、良い暮らし、良い仕事の基礎を確実に育てる。
情 操	特に音楽を中心に日本語を正しく発音して、美しく歌う指導をする。 いろいろな楽器に親しみ、美しい音を出すこと、仲間とともに演奏することの指導をする。 和太鼓では、正確なリズム、力強く曲想豊かな表現の指導を徹底して我が校の校技といえるものに仕上げる。校外での演奏活動を積極的に行い、文化面からの社会参加する機会を多く持つ。

### 2. 技術教育

本校では、技術教育を全人教育の中核に置き、次のような実習活動に取り組んでいる。

作業教育	活動内容
製菓・製パン	製菓・製パンに関する基礎的な技能・技術の教育を行う。
木工 割り箸	木工工芸に関する基礎的な技能・技術の教育を行う。 木材工場より発注された「焚きつけ材」の加工・包装を行う。 糸鋸を使用して、「干支の組み木」を製作・販売する。 生姜販売業者より発注された「生姜の木箱」の製作を行う。 山から竹を切り出し、竹割り箸を製造。
調理	主に昼食作りを通して、調理に関する基礎的な技能・技術の教育を行う。
文旦（農業）	農耕、果樹園等の栽培に関する基礎的な技能・技術の教育を行う。
清掃	清掃（トイレ、廊下、フロア、窓ガラス等）に関する基礎的・専門的な技能・技術の教育を行う。（一部準備中）
さをり織り	さをり織りに関する基礎的な技能・技術の教育を行う。

## 5. 生徒の状況 2024.5.1

### (1) 学部・学年別在籍生徒数

	中学部				高等部本科				高等部専攻科			合計
	中1	中2	中3	小計	高1	高2	高3	小計	専1	専2	小計	
男	0	1	3	4	6	5	1	12	2	2	4	20
女	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	4
計	0	1	3	4	6	5	4	15	2	3	5	24

### (2) 障害の程度

	合計
最重度	3
重度	8
中度	5
軽度	8
計	24

### (3) 併せ持つ障害・疾病

	合計
知的	3
自閉症スペクトラム症(ASD)	15
注意欠陥多動症(ADHD))	5
てんかん	2
ダウン症候群	2
プラダー・ウィリー症候群	0
身体障害手帳	1
精神障害手帳	1
言語障害	0

### (4) 出身地別生徒数

都道府県	合計
高知	10
愛媛	1
徳島	0
奈良	1
兵庫	2
大阪	3
神奈川	3
東京	4
	24



## 6. 高等部卒業生の進路状況

### 高等部本科卒業生進路

		2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5
進 学	本校専攻科	3	2	2	6	5	2	4	5	2	3	2
	各種学校	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0
就 労	一般就労	1	0	1	2	0	1	0	0	0	0	1
	就労継続A型	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	就労移行・就労継続B型	0	2	1	2	3	1	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1
卒業生数		4	4	6	13	8	5	5	6	2	6	4

### 高等部専攻科修了生進路 ※進路先決定による途中退学含む（2020年度以降）

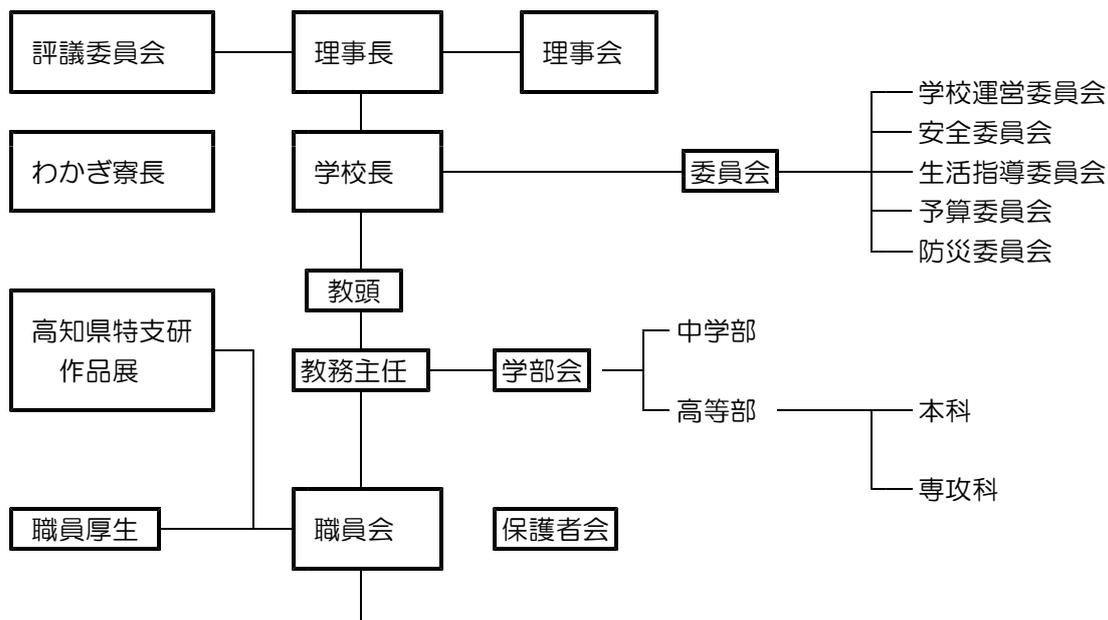
		2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5
就 労	一般就労	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	就労継続A型	0	0	0	0	0	0	0	1(1)	0	0	0
	就労移行・就労継続B型	7	3	1	1	1	1	3	1	(1)	2(1)	0
生活介護		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
障害者支援施設		0	1	1	1	1	1	0	0	1(1)	0	(1)
修了生数※		7	5	3	2	2	2	4	2(1)	1(2)	3(1)	0(1)

(途中退学)

### 教職員構成

番号	職名	職務内容
1	理事長	法人代表（学校の総理）
2	校長	学校運営
3	教頭	教務、進路
4	教諭①	新入生担任、木工
5	同 ②	新入生副担、製菓
6	同 ③	高1A担任、製パン
7	同 ④	高1A副担、文旦
8	同 ⑤	高2担任、調理・木工
9	同 ⑥	高3担任、調理・さをり織り
10	同 ⑦	専攻科担任、木工、進路
11	同 ⑧	専攻科副担、製菓、音楽
12	支援員	非常勤（ICT・広報）
13	同 ⑨	高2・3副担
14	養護教諭	養護、保健
15	教諭⑩	寄宿舍舎監、農耕
16	同 ⑪	寄宿舍、授業支援
17	同 ⑫	寄宿舍、授業支援
18	寄宿舍指導員①	日勤、夜直
19	同 ②	日勤、夜直
20	同 ③	日勤、夜直
21	同 ④	調理
22	同 ⑤	非常勤（夜直）
23	事務職員①	
24	同 ②	

## 7. 学校運営組織

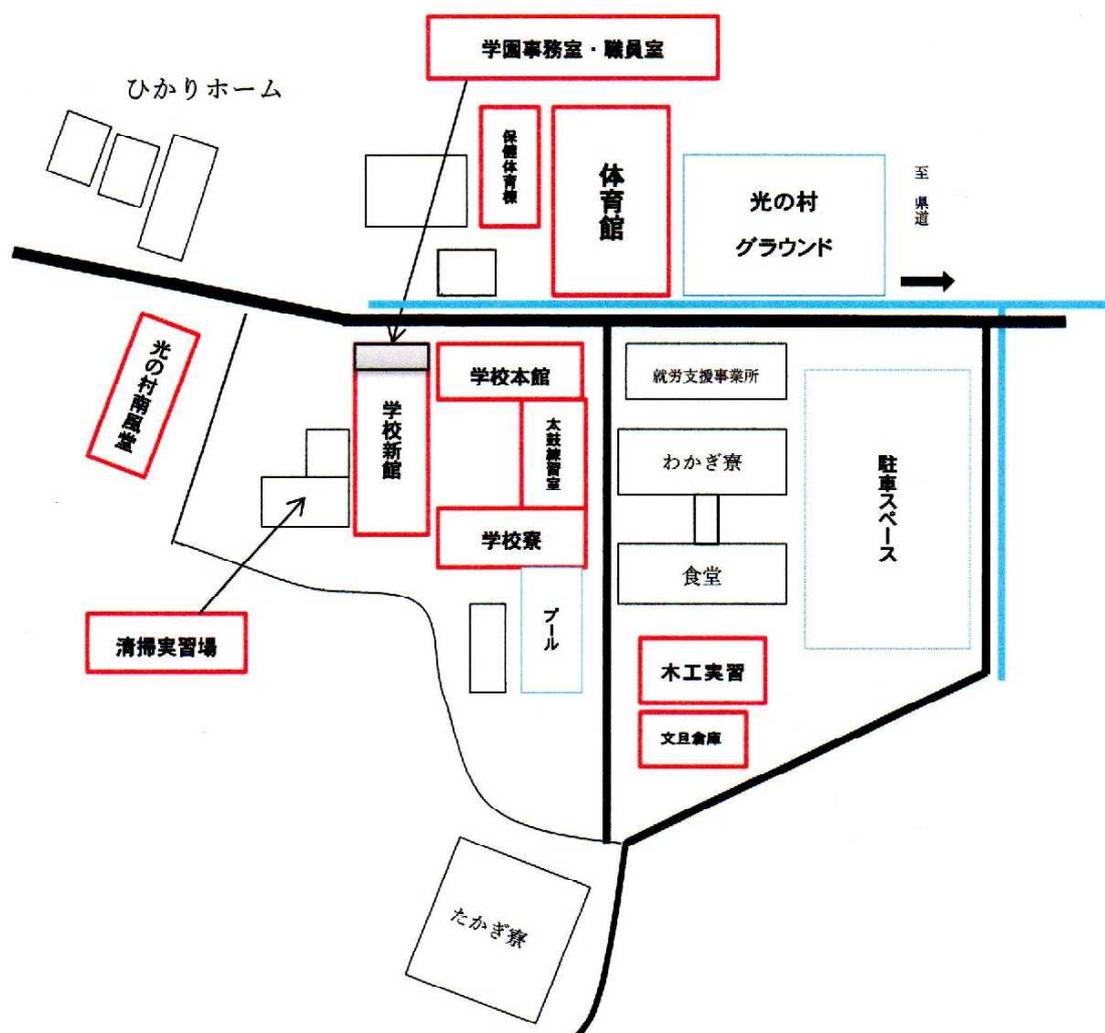


管理部	教務	資料・公簿（帳簿）・行事 年度末冊子等合本整理 文書・広報・調査・統計 教科書採択 入学選考（相談・体験入学） 公用車運行計画 教育課程
	教具・備品	図書 体育用具 農耕・木工用具 音楽用具（太鼓含） 保健用具 家庭科用具 視聴覚用具 各学級備品 製パン備品 製菓備品 せんべい備品 紙器備品 備品台帳 事務・行事用備品（含 机・椅子・スリッパ） 生活備品 調理用具
	施設	火気取り締まり・戸締まり 環境整備 掃除区域配当、用具集配修繕、大掃除立案 除草管理（含 中庭） 塵埃処理（含 不燃物処理） 水源地管理・水質検査、し尿処理 建設・営繕（焼却炉）
研究部	私特連研修会、校内研修会	
指導部	生活指導部	生活指導部 生徒会 誕生会
	作業学習指導部	製パン 製菓 せんべい 紙器 農耕・文旦 割り箸 木工
	単元学習指導部	強歩 卒業旅行 サイクリングマラソン 龍馬マラソン 文化祭・敬老会 水泳 体育祭
	教科学習指導部	保健体育 情操 言語 数量 家庭
	行事指導部	保護者研修 夏期体験活動 家庭学校
	進路指導・後補導（現場実習）	
保護者会		
事務部	法人・学校経理 庶務・渉外 備品 建設・営繕 職員福祉 生活部門	
（光の村資料館準備室）		

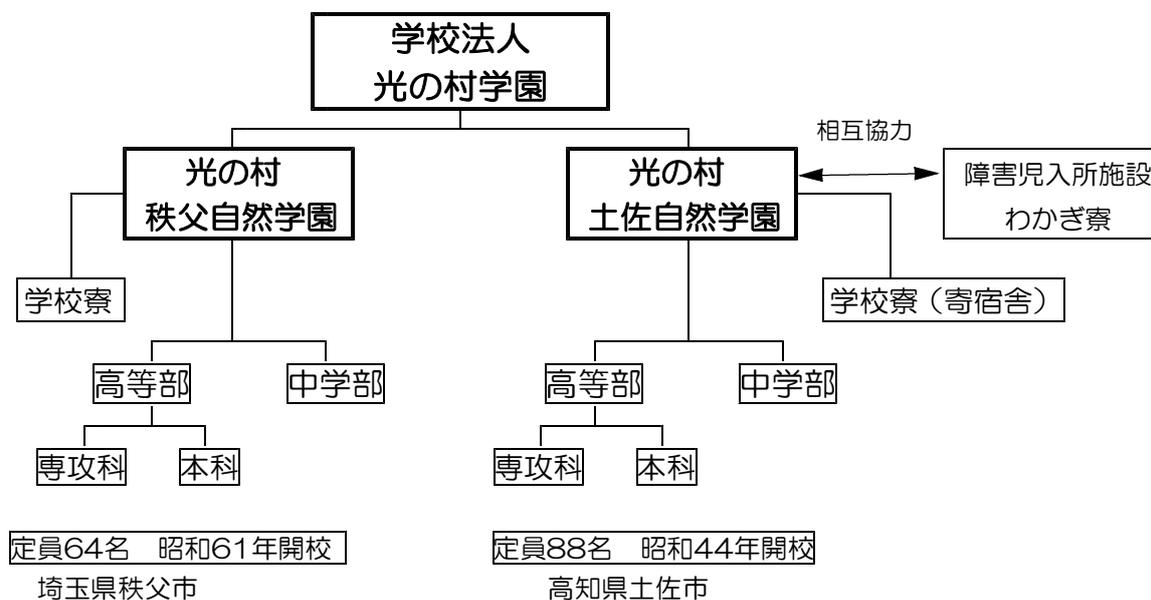
## 8. 主要年間行事予定

	学校行事など	保健・安全	進路指導など	その他
4月	光の村全体会 始業式・入学式 保護者会 第1回家庭学校	身体測定 視力・聴力・色覚検査 新入生健康状態把握 足裏撮影・歯科検診 避難訓練（火災・地震）	関係機関との連携 進路懇談会 希望調査	保護者会
5月	強歩大会 障害者スポーツ大会	身体測定 健康診断	進路希望調査	理事・評議員会
6月	プール開き オープンスクール①	身体測定、救急法講習会 水泳の健康管理・プール消毒	現場・職場見学	
7月	夏期体験活動 オープンスクール②	身体測定 水泳の健康管理・プール消毒 風水害避難訓練		
8月	水泳大会 終業式、体験会 第2回家庭学校、校内研修 始業式	飲料水検査 プール消毒	期末懇談会 家庭から実習	保護者会
9月	プール納め 体育祭予行 オープンスクール③	身体測定 環境整備 地震・津波避難訓練		
10月	体育祭 高3卒業記念トライアスロン 中3卒業記念土佐遍路	身体測定		
11月	オープンスクール④ サイクリング（自転車学習） 入学選考 仁淀川ふれあいマラソン	身体測定 安全点検 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練	現場・職場実習	
12月	にこにこふれあいフェア 学習発表会・敬老会 入学者決定、終業式 第3回家庭学校	身体測定	現場・職場実習 期末懇談会	保護者会
1月	始業式 校内駅伝大会 オープンスクール⑤	身体測定		
2月	高知龍馬マラソン マラソン大会	身体測定		
3月	修了式 卒業式・学習発表会 第4回家庭学校	身体測定 地震・津波避難訓練	期末懇談会	保護者会 理事・評議員会

## 9. 光の村全体図



## 10. 光の村構成図



# DAILY LIFE! 規則正しく自立した生活が目標。



寮生活(寄宿舎)の1日

## 平日の日課

12  
9 1 3  
6

**起床**  
寝具・パジャマの片付け

5:45



**グラウンド集合**  
ラジオ体操・ストレッチ・マラソン(約5km)  
生徒の状況を見て距離は決めます。  
新入生については、歩くところから始めます。

**温冷浴**  
水1分、お湯1分、水・湯と交互に入ります。血行促進効果があるといわれています。



12  
9 1 3  
6

**朝食・歯磨き**  
学校寮生は、朝食作りにも取り組んでいます。

7:30



**朝掃除**  
寮生活で使う場所を中心に掃除をします。



12  
9 1 3  
6

**登校**  
朝礼終了後、授業が始まります。

8:30



12  
9 1 3  
6

**帰寮**

16:00

洗濯物片付け・  
入浴・  
学習(日記等)



何でも自分で出来るようにします。

12  
9 1 3  
6

**夕食・歯磨き**

18:30

洗濯・洗濯干し(各自の下着類)・  
学習(日記等)・  
余暇時間



規則正しい生活で健康づくり。

12  
9 1 3  
6

**就寝**

21:00

## 休日の日課

12  
9 1 3  
6

**起床**

7:00

ラジオ体操・  
歩き



**朝食・歯磨き**

12  
9 1 3  
6

**大掃除**  
普段できない場所も(浴室など)

8:30



外出、  
防災学習、環境整備、  
散髪など。

12  
9 1 3  
6

**昼食・歯磨き**

12:00

洗濯物取り込み・片付け  
翌日の衣類準備



**余暇時間**  
(音楽鑑賞、テレビ・DVDなど)



12  
9 1 3  
6

**おやつ**

14:15

月に1回  
誕生会。

入浴・日記・洗濯物干し

余暇時間(主にDVD)



12  
9 1 3  
6

**夕食・歯磨き**

18:00

余暇活動



本を読んだり、  
レゴ等で遊ぶ者  
もいます。

終礼

就寝準備

12  
9 1 3  
6

**就寝**

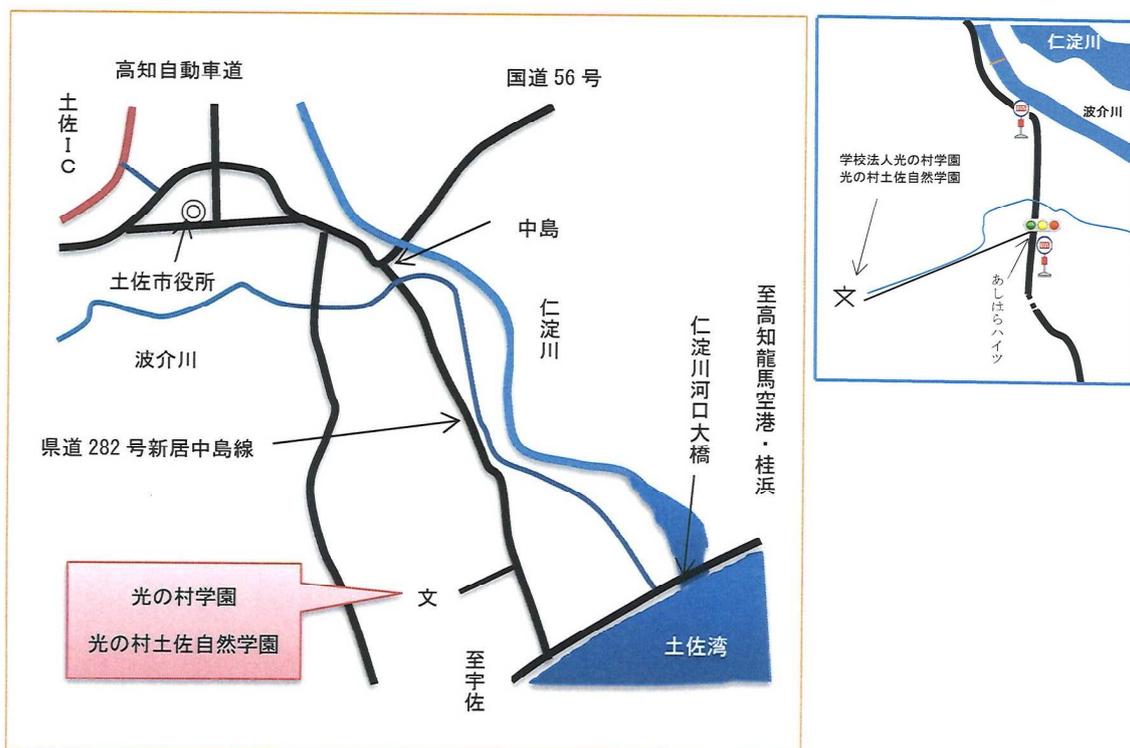
20:40



寄宿舎で身につけて頂いた自分の服の整理は、兄弟よりもキチンとしてくれ、誰よりも家事を手伝ってくれています。(卒業生保護者より)

※学校行事等により変更もあります。

## 光の村案内図



### 《交通手段》

#### ○自動車の場合

高知自動車道経由・・・土佐インターで降り、高速進入路とバイパスとの交差点で左折し高知市方向に東進し、宇佐・新居方面の看板を目印に（仁淀大橋手前）の交差点を右折して、途中小さな峠（今渡峠）を超えて道なりに進み、本村トンネルの手前の点滅信号を右折（土佐インターから約15分）

高知龍馬空港方面から・・・高知龍馬空港からは黒潮ライン（県道14号）を西へ、浦戸大橋を渡って海沿いを道なりに進み、「文庫の鼻トンネル」を過ぎさらに海沿いに直進（県道23号）し仁淀河口大橋を渡って最初の信号の三叉路を右に進み（県道282号）、トンネルを抜けてすぐの点滅信号を左に曲がる。

#### ○公共交通利用の場合

高知龍馬空港から・・・空港連絡バスで高知駅へ。高知駅前から「とさでん交通」バス「宇佐行き」乗車。「奥谷通り光の村前」下車。徒歩15分。

高知駅から・・・高知駅前から「とさでん交通」バス「宇佐行き」乗車。「奥谷通り」下車。徒歩15分。

※高速バスを利用の方は高知駅で降車して上記の方法で。

